

2期項目 No	Ⅲ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
2期 カテゴリ	18 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
2期 内容	NHK富山等と共同で水害啓発ポスターの作成
実施主体	富山県

NHK富山放送局及びカターレ富山と連携し、水害啓発ポスターを作成しました。県民に親しみやすい県有施設：環水公園と総合運動公園を舞台に、神通川の想定最大規模降雨でどれだけ浸水するかを示しました。また完成したポスターは、各市町村や県の出先機関に配布しました。



2022年 7月 26日 [トピックス]

No.1052:きときと君やライカくん(カターレ富山)も友情出演!「NHK富山放送局」プロデュース・水害啓発ポスター完成のお知らせ。

ウェブマガジンにも掲載されました

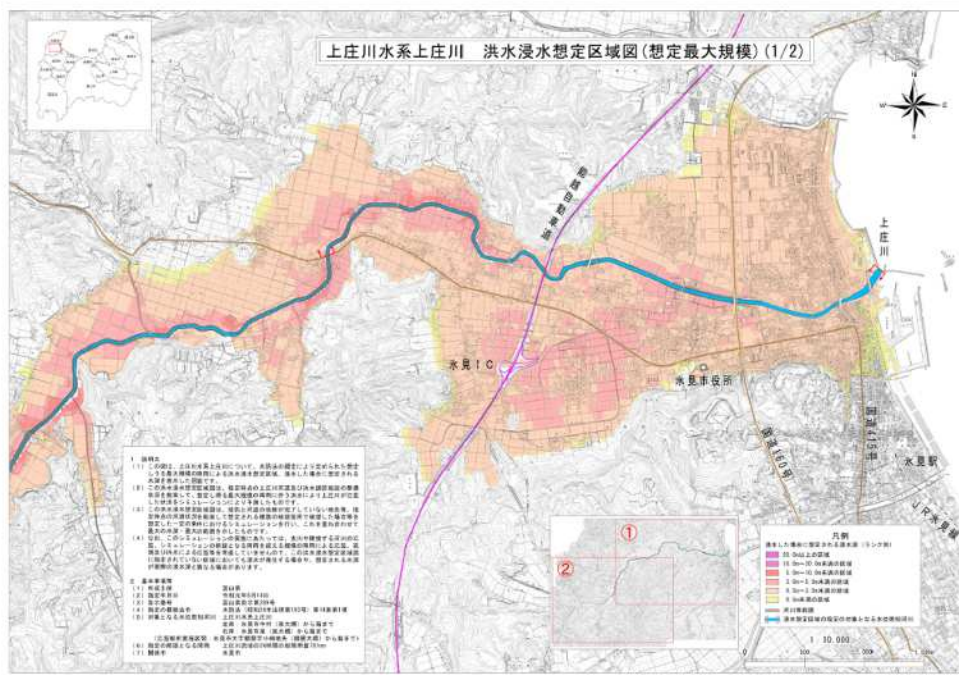


作成した水害啓発ポスター

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	26 想定最大規模降雨による浸水想定区域図
2期 内容	水害リスク空白地を解消するため、中小河川における想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成およびハザードマップ作成支援
実施主体	富山県

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。上庄川水系の県管理河川についても、令和6年度末を目標に洪水浸水想定区域図を作成することを目標に取り組んでいます。

【取組実績】令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施



参考例:上庄川(本川)(水位周知河川)
洪水浸水想定図(想定最大規模)



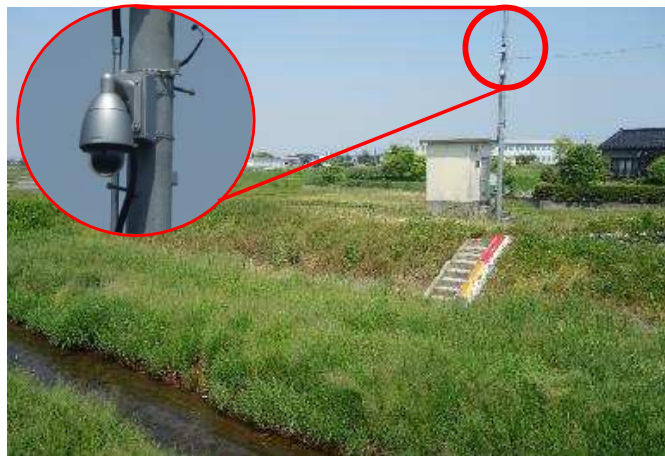
上庄川支流の河川(例:桑院川)

2期項目 No	Ⅱ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
2期 カテゴリ	4 洪水時の状況を把握するための、河川監視カメラや水位計等の基盤整備
2期 内容	危機管理型水位計データの県HPへの取り込み
実施主体	富山県

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開しているが、R5年3月に危機管理型水位計のリアルタイムデータも同HPで閲覧できるように改修した。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～ (R4.3月リニューアル、**R5.3月改修**)
- ・ 公開の内容:河川海岸カメラ画像情報(静止画:5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <http://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



富山県河川海岸カメラ・水位情報

地図画面 | **地域別河川状況表** | 地域別カメラ画像一覧 | メインメニュー

現況水位表 | **危機管理型水位表** | 今回改修で閲覧可能

新川土木 (魚津市、滑川市) 取得日時: 2023/04/14 16:30

河川名	観測所名	危機管理型水位 (堤防天端からの高さ)	観測開始 水位	危険水位	氾濫開始 水位
角川	月見橋	-3.31m	-	-2.59m	0.00m
坊田川	坊田川	-1.21m	-	-0.80m	0.00m
大座川	大座川	-1.52m	-	-1.22m	0.00m
小川寺川	小川寺川 蛇田	-3.79m	-	-2.69m	0.00m
入川	入川 農野	-2.05m	-	-1.60m	0.00m
中川放水路	中川放水路 柳原	-5.3m	-	-3.78m	0.00m

入善土木 (朝日町、入善町、黒部市) 取得日時: 2023/04/14 16:30

河川名	観測所名	危機管理型水位 (堤防天端からの高さ)	観測開始 水位	危険水位	氾濫開始 水位
神谷川	神谷川	-2.24m	-	-1.70m	0.00m
寺川	寺川	-1.8m	-	-1.13m	0.00m
平曾川 下飯野	平曾川	-1.32m	→	0.00m	0.00m

県HP「富山県河川海岸カメラ・水位情報」

2期項目 No	I ①洪水を河川内で安全に流す対策
2期 カテゴリ	1 河道浚渫・河道掘削
2期 内容	河道内堆積土砂や樹木の計画的な撤去を推進
実施主体	富山県

洪水時の流下能力を確保するため、河道内に堆積した土砂の浚渫。

【実施概要】

- ・実施箇所: 堀田川、万尾川、上庄川、余川川、阿尾川、宇波川
- ・実施時期: H30～(R4実績: 赤)



河道浚渫実施前(余川川)



河道浚渫実施後(余川川)

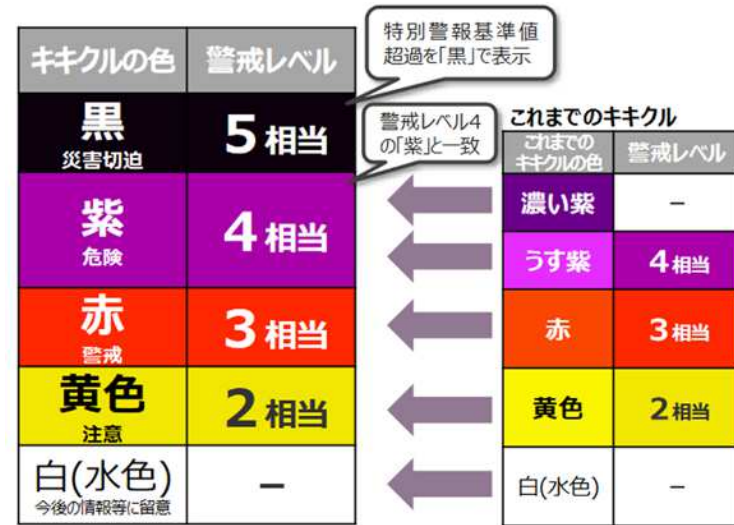
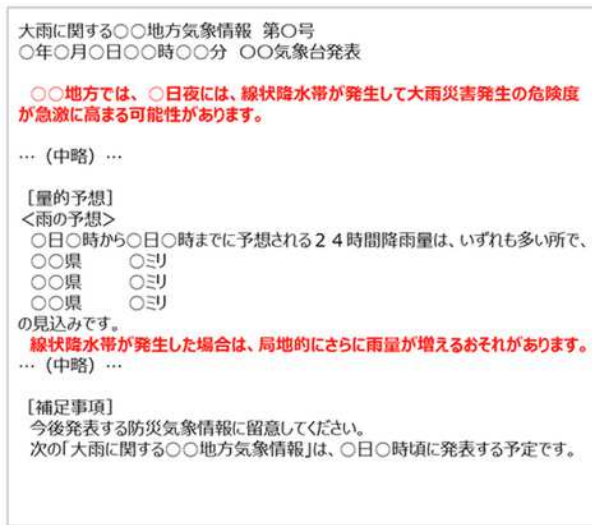
2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	29 リアルタイムの情報提供など防災情報の充実、37 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
2期 内容	防災気象情報の伝え方の改善
実施主体	富山地方気象台

・有識者による「防災気象情報の伝え方に関する検討会」報告書を踏まえた取組で、住民の適切な避難判断・行動につながるよう、防災気象情報の伝え方を改善した。

【詳細】

・線状降水帯による大雨の可能性が高い場合に、複数の県にまたがる広域を対象に、線状降水帯による大雨となる可能性を半日程度前から気象情報において呼びかける。

・キキクル（危険度分布）に警戒レベル5相当の「災害切迫」（黒）を新設し、「うす紫」と「濃い紫」を警戒レベル4相当の「危険」（紫）に統合して、より分かりやすく危険度を伝えるよう改善した。



カテゴリ	関係機関が連携した市総合防災訓練の実施		
内容	令和4年度市総合防災訓練	実施主体	氷見市・地区自主防災会

災害発生時における迅速かつ的確な防災活動の実施や住民の防災意識高揚を図るため、防災関係機関、自治会、自主防災会、氷見建設業協会、地域住民、ボランティア団体等と連携し、避難所開設・運営訓練や要配慮者避難行動支援訓練、水防訓練等の総合防災訓練を実施した。

【詳細】

- ・ 日 時：令和4年9月4日（日） 午前7時30分～12時
- ・ 参加者：約800人（自主防災会、県、警察、水防団、消防団、氷見建設業協会、地域住民、ボランティア団体等）
- ・ 内 容：①災害対策本部設置訓練（市庁舎）
 ②要配慮者避難行動支援訓練（宇波地区）
 ③避難所開設・運営訓練（宇波地区）
 ④水防訓練（神代地区）
 ⑤火災防ぎょ訓練（市街地）



要配慮者避難行動支援訓練



水防訓練



避難所開設・運営訓練